

ワンランク上 英会話の技術④

助動詞2—“will” が未来形ならば “would” って何者？

まさかあなたと結婚するとは思わなかった

↓この英文で正しいでしょうか？ 答えはp.31

?? “I never thought I would marry you.”

◎ Track 4

下記のスキットを読んで複数あるwouldの使い方を確認してみましょう。
ダニエル、アニータ、メイドのハンナの3人は、アフタヌーンティーを共にしています。

Hannah: **Would** you like another glass of hot berry juice, Anita?

Anita: Yes, that **would** be great, Hannah.

Daniel: **Would** you give me a refill of tea, Hannah?

Hannah: Certainly. Anyhow, I never thought you **would** join me for this afternoon tea.

Daniel: Neither did I. I'm sorry I got scared at first.

Hannah: Who **wouldn't** be?

Anita: **Would** you mind telling us what your life was like when you were alive?

Hannah: I was the head maid at this hotel. So I **would** supervise 20 maids and train new maids. Also, I **would** be responsible for the rooms when VIPs came.

Anita: VIPs!? Like who?

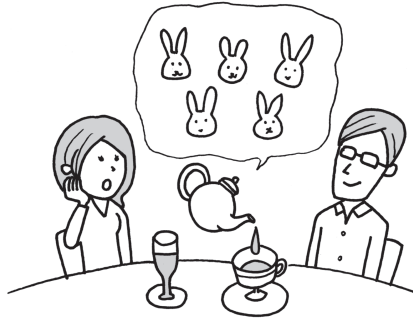
Hannah: Some politicians and movie stars, but you **wouldn't** know them. I am talking about back in the 1930s.

Daniel: Is that the time you lived? The 1930s?

Hannah: Yes. Anyway, they **would** come here to take vacations. You **would** be surprised to see what they brought with them, though. One actress **would** bring dresses in 12 suitcases, and a First Lady from France brought her five rabbits with her.

Anita: Poor rabbits! I **wouldn't** do that.

Hannah: Exactly. Traveling a long distance **would** be hard on small fragile animals.



日本語訳

ハンナ： ホットベリージュースをもう一杯いかが、アニータ？

アニータ： はい、お願いします、ハンナ。

ダニエル： 僕に紅茶のおかわりをお願いできますか、ハンナ？

ハンナ： もちろんですとも。それはそうと、あなた方が私のアフタヌーンティーにお付き合いくださるとは思いもしませんでしたわ。

ダニエル： 僕も思ってもみませんでした。最初は怖がったりしてすみません。

ハンナ： 怖がらない人なんて、いないのではないかしら？

アニータ： あなたが生きていた頃、どんな暮らしだったのかを教えてくださいても構いません？

ハンナ： 私はこのホテルのメイド長でした。ですから20名のメイドの管理と新人メイドの教育を担当していたものです。それからVIPが来館した際の部屋の責任者でもありました。

アニータ： VIP!? どんな人の？

ハンナ： 政治家や映画スターだけど、あなたは知らないでしょう。1930年代のことですから。

ダニエル： その頃があなたが生きていた時代ですか。1930年代？

ハンナ： はい。それで、彼らはここに休暇を過ごしに来たのですわ。けれどその人たちの持ってくるものといったら、驚きますよ。ある女優なんて、スーツケース12個分のドレスを持ってくるし、あるフランスの大統領夫人は5匹のウサギを持って来たんですよ。

アニータ： ウサギが可哀そう。私だったらしないわ。

ハンナ： その通り。長距離の移動は繊細な小動物には酷だろうと思います。

会話に役立つリアル英文法

wouldの用法

wouldも、前章のcouldと同様にいろいろな使われ方をします。couldの理解と重なる部分も多いので学習しやすいかもしれませんが、大まかにまとめてみると、willの過去形として、丁寧表現として、推量として、過去によくやったことについての4パターンです。

willの過去形として時制の一致

まずwillの過去形としてのwouldですが、過去の時点でした未来の予測に時制の一致が

ワンランク上 英会話の技術⑥

形容詞と副詞—“...ly”で知られる副詞、実際はどう使うの？

温かく感じます

↓この英文で正しいでしょうか？ 答えはp.44

?? “I feel warmly.”

◎ Track 6

形容詞と副詞の区別がカギ！ 下記のスキットを読んでその区別を確認してみましょう。ポイントとなる形容詞と副詞が太字になっています。

ハンナからもらった、悔いのないように生きるというアドバイス。早速実行するダニエルですが…。

Anita: Oh, Daniel, thank you so much for this **wonderful** dinner. Everything was so **lovely** and **delicious**. What's next?

Daniel: Dessert. I hope it will make you **really happy**, Anita.

Server: Here is a **special** dessert. Enjoy.

Anita: Wow, this cake is so **beautifully** decorated. It looks **perfect**. Mmm, it smells **sweet**.

Daniel: Here, I will slice it for you.

Anita: Thank you. Wow, it tastes **incredibly good**. Oh ...

Daniel: What, Anita?

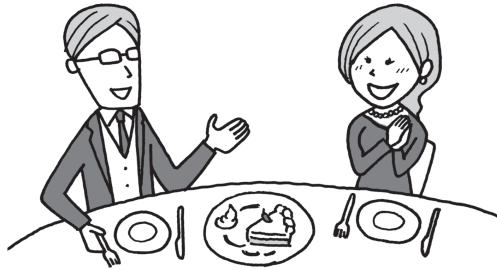
Anita: I thought there was something **hard** inside.

Daniel: You should take it out. Let's see what it is.

Anita: Um, it's too **late**. I guess I ate it.

Daniel: In that case, we should go to the **nearest** hospital **very quickly**. That was your engagement ring!

アニータ: まあ、ダニエル、こんな素晴らしいディナーをどうもありがとう。どれも素敵でおいしかったわ。次は何かしら？
 ダニエル: デザートだよ。アニータ、君を本当に喜ばせるものだといけど。
 給仕: こちらが特製のデザートです。楽しめますように。
 アニータ: わあ、このケーキはとても綺麗にデコレーションがされているわ。見た目は完璧ね。うーん、甘い香りがするわ。
 ダニエル: さあ、僕が切ってあげるよ。
 アニータ: ありがとう。わあ、信じられないくらいおいしいわ。あれ…
 ダニエル: 何だい、アニータ？
 アニータ: 何か固いものが入っていたような気がしたんだけど。
 ダニエル: 取り出してみなよ。何なのか見てみよう。
 アニータ: うーん、もう遅いわ。食べちゃったみたい。
 ダニエル: そういうことなら、最寄りの病院に急いで行くべきだ。それは君の婚約指輪だったんだよ！



会話に役立つリアル英文法

太文字になっている語のうち副詞は、really, beautifully, incredibly, very, quickly の5つで、残りは形容詞です。

形容詞のパターン

形容詞については、**wonderful** dinnerのように名詞の前に付く場合と Everything was **delicious**.のように〔主語＋be動詞＋形容詞〕という文が最も一般的で、いずれも名詞（ここではdinnerとeverything）を修飾しています。そして形容詞のほとんどは“ly”が付くことはありません（friendly, early, lovely, lonely, timely等の例外あり）。

副詞のパターン

一方で副詞とは、really, beautifully, incredibly, quicklyのように、たいていは“ly”が語尾にあります（veryやwell等の例外あり）。主には3パターンの使い方があり、**beautifully** decorated（美しく飾られている）やgo **quickly**（素早く行く）のように動詞を修飾、**really** happy（本当に幸せな）のように形容詞を修飾、そしてgo **very** quickly（とても